

第2期網走市まち・ひと・しごと 創生総合戦略の効果検証 2020～2024

- 1 はじめに
- 2 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況
- 3 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証

網走市 企画総務部 企画調整課

1. はじめに

急速に進む人口減少・少子高齢化に対応するため、国は 2014（平成 26）年 11 月に制定した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持するための取り組みの方向性をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

網走市においても、2015（平成 27）年 10 月に「網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地域特性を活かした積極戦略と調整戦略を同時並行的に進め、市民の住み良い環境を持続的に確保するための施策の展開を図ってきました。

その結果、一定の成果は現れていますが、人口減少・少子高齢化は依然として進展しており、継続した取り組みを切れ目なく進めるために、国の「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び北海道の「第 2 期北海道創生総合戦略」を勘案し、「網走市人口ビジョン」における将来展望を踏まえ、2020（令和 2）年 3 月に「第 2 期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第 2 期戦略」という。）を策定しました。

第 2 期戦略は、「網走市人口ビジョン」で掲げる 2040 年に人口 32,900 人を確保する目標を達成するため、2020～2024 年を計画期間と定め、5 つの基本目標それぞれに計画期間内に達成すべき数値目標を掲げ、また、各基本目標の達成のために実施する具体的な施策に対しては、その成果を測る指標として重要業績評価指標（KPI¹）を設定しています。このたび、第 2 期戦略の計画期間が終了したことから、設定した 5 つの基本目標と 61 の KPI について効果を検証します。

¹ KPI：Key Performance Indicator の略称で、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

2. 第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況

第2期戦略の効果検証にあたり、数値目標及びK P I の達成状況を下記のとおり3段階の「評価ランク」に分類し、客観的に評価します。

評価ランク

達成度は、下表のとおり評価します。

評価ランク	評 価 基 準
A	目標を達成（上回る）している。 （達成率 ² 100%以上）
B	一定の効果が表れている。 （達成率 80～99%）
C	効果が十分に表れていない。 （達成率 80%未満または実績値が基準値を下回っている）
※	調査時期未到来

評価例1)

K P I	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	評価
〇〇〇人	1,000 人	3,000 人	2,700 人	B

$(2,700 \div 3,000) \times 100 = 90(\%)$ ・・・よって、評価ランク B

従って、このK P I は、「一定の効果が表れている。」と評価します。

評価例2)

K P I	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	評価
〇〇〇%	90%	100%	85%	C

$(85 \div 100) \times 100 = 85(\%)$ ・・・達成率 80%を超えているが、実績値が基準値を下回っているため評価ランク C

従って、このK P I は、「効果が十分に表れていない。」と評価します。

² 達成率(%)：実績値の目標値に対する割合（実績値／目標値×100）

基本目標 1 地域づくりを担う組織との協働による、誰もが安心して働くための産業振興と雇用の場の創出

数値目標	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
市内事業所の従業員数	人	15,757	16,000	-	-	※ ¹

※1 結果判明時期：R8 参考値：(R3)14,426人…B

【1-1 地域産業のさらなる競争力強化の取り組み】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
オホーツク産機能性もち麦の国内消費拡大	t/年	0	1,000	-	-	C
新規作物（もち麦）の産地化	-	-	産地化	-	-	C
豆類の作物の作付面積	Ha	485	607	1,030	169.7%	A
中心市街地通行者数	(平日)	1,006	3,000	612	20.4%	C
	(休日)	905	2,000	265	13.3%	C

【1-2 国内外への販路拡大】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
対 EU 輸出水産食品取扱認定施設保有企業数	社	4	5	5	100.0%	A
網走港からの移・輸出入貨物取扱量	万 t/年	39	43	40	93.0%	B

【1-3 地域特性を活用した新エネルギーの利用や企業誘致の促進】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
大規模発電施設数	基	4	6	8	133.3%	A
「COOL CHOICE」賛同者数	人	120	600	628	104.7%	A
「網走市エコドライブ」賛同者数	人	120	600	611	101.8%	A
企業誘致（件数）	件	2	4	4	100.0%	A
企業誘致（雇用数）	人	14	20	32	160.0%	A

【2-1 就労機会の拡充】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
高校卒業者市内就職率	%	61.43	65.00	55.56	85.5%	C
女性が働きやすいと感じる割合	%	27.42	35.00	－	－	※ ³
障害者手帳所有者中の 就労者数の割合	%	52	57	－	－	※ ⁴
障がい者受入企業の割合	%	7	8	11	137.5%	A
市と会議所が支援した 起業・創業数	社	40	50	80	160.0%	A
定住する地域おこし協力隊員数	人	0	5	1	20.0%	C

※3 結果判明時期：R8.5 参考値：(R5)39.6%…A

※4 結果判明時期：R8.9 参考値：(R5)55.0%…B

基本目標 2 観光や健康・スポーツなど、網走の地域特性を生かした交流・関係人口の拡大

数値目標	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
観光入込客数	万人/年	147	199	157	78.9%	C

【1-1 「おいしいまち」網走」の確立と進化】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
観光入込客数（再掲）	-	-	-	-	-	-
観光宿泊客数	千人/年	35.4	46.0	39.6	86.1%	B

【1-2 スポーツ・芸術文化を切り口とした交流・関係人口の拡大】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
合宿参加人数	(スポーツ)	1,828	2,000	911	73.4%	C
	(文化)	100	300	304		
東京オリパラホストタウン 合宿参加人数	人	5	10	0	0.0%	C
海外アスリートとの合宿時の 交流事業開催回数	回	0	1	0	0.0%	C
合宿及びスポーツ・ツーリズム による経済波及効果	万円/年	70,858	80,000	37,681	47.1%	C

【1-3 多様な機関との連携による関係人口の拡大】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
網走応援人登録者数	人/年	179	300	160	53.3%	C

【1-4 マーケット視点に立った観光客の誘致拡大】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
外国人宿泊客数	万人/年	4.2	10.0	5.2	52.0%	C
観光入込客数（再掲）	-	-	-	-	-	-

基本目標 3 若い世代が健康で、希望に応じて結婚・出産・子育てができる環境づくり

数値目標	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
合計特殊出生率	－	1.51	1.65	1.19	72.1%	C

【1－1 結婚・出産の意識改革】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
街コン等のイベントにおけるカップル成立数	組	0	20	13	65.0%	C

【1－2 周産期・小児医療の確保】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
産科・小児科 医療機関数	(産科)	2	2	2	100.0%	A
	(小児科)	3	3	3		
子どもインフルエンザ接種率	%	68.9	75.0	70.5	94.0%	B

【1－3 出産・子育ての負担の軽減】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
子育てがしやすいと感じる割合	%	63.3	65.0	59.6	91.7%	C
合計特殊出生率（再掲）	－	－	－	－	－	－

【2－1 学習機会の提供と実践】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
子育てがしやすいと感じる割合 （再掲）	－	－	－	－	－	－

【３－１ 雇用の場の創出と就労支援】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
オホーツク産機能性もち麦の 国内消費拡大（再掲）	－	－	－	－	－	－
高校卒業者市内就職率（再掲）	－	－	－	－	－	－
市と会議所が支援した 起業・創業数（再掲）	－	－	－	－	－	－

基本目標 4 東京農業大学、日本体育大学などと連携し、地域を支える人材の育成・確保

数値目標		単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
全国学力調査 の全国平均正 答率との差	(小学生)	ポイント	-2.7	全国平均 以上	-3.2	96.3%	B
	(中学生)		-0.9		-4.2		
全国体力調査 の全国平均点 との差	(小5男子)	ポイント	+0.2	全国平均 以上	-0.4	100.2%	A
	(小5女子)		+1.3		-0.2		
	(中2男子)		-0.8		+1.6		
	(中2女子)		-3.0		-0.1		

【1-1 東京農業大学との連携】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
農大卒業生の市内就職者数	人	9	39	27	69.2%	C
未来を考える戦略センター 取り扱い事業件数	件	0	5	18	360.0%	A

【1-2 日本体育大学との連携】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
日本体育大学附属高等支援 学校卒業生の市内就職者数	人	0	15	8	53.3%	C
日本体育大学連携スポーツ 教室の参加者数	人	0	50	58	116.0%	A

【2-1 大都市圏などからの人材確保】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
定住する地域おこし協力隊員数 (再掲)	-	-	-	-	-	-

【２－２ 人材の育成・確保】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
未来を考える戦略センター 取り扱い事業件数（再掲）	－	－	－	－	－	－

【３－１ 子どもの学習環境の充実】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
全国学力調査 の全国平均正 答率との差 （再掲）	（小学生）	－	－	－	－	－
	（中学生）	－		－		
全国体力調査 の全国平均点 との差（再掲）	（小５男子）	－	－	－	－	－
	（小５女子）	－		－		
	（中２男子）	－		－		
	（中２女子）	－		－		
知識の定着や技能の習熟 をねらいとして、学習用 ソフトウェアなどを活用 して、繰り返し学習する 課題や児童生徒１人１人 の理解・習熟の程度に応 じた課題などに取り組ま せることが「できる」教 職員の比率	（小学校）	80.7	前年度比 3%増 小 97.5 中 79.1	93.1	103.0%	A
	（中学校）	90.6		87.5		
子どもの学習の場の参加者数	人/年	603	900	1,019	113.2%	A

【４－１ 市民の学びの場の充実】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
市民対象講座の参加者数	人/年	2,628	2,800	3,714	132.6%	A
いきいき健康体力づくり教室・ こどもスポーツチャレンジ・各 種スポーツ教室（テニス・バド ミントン・スケート・スキー・ スノーボード）参加者数	人/年	160	250	237	94.8%	B

基本目標 5 誰もが活躍し、安心して暮らすことができる時代に合った
共生型地域社会づくり

数値目標		単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
健康寿命	(男性)	歳	79.19	79.50	79.28	100.2%	A
	(女性)		83.06	84.39	84.87		

【1-1 安全・安心なライフラインの構築】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
橋梁補強完了率	%	25	80	65	81.3%	B
導水管更新（耐震化）完了率	%	49.40	60.00	64.43	107.4%	A
下水道圧送管渠の二条化完了率	%	0	20.0	22.57	112.9%	A
自主防災組織の組織率	%	70.50	80.00	71.21	89.0%	B
緊急告知防災ラジオ普及率	%	0	70.0	62.2	88.9%	B
路線バスの利用者数	人	756,945	756,945	514,524	68.0%	C
「どこバス」実証実験の 利用者総数	人	959	4,000	63,606	1,590%	A

【1-2 健康寿命の延伸】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
国保特定健康診査受診率	%/年	25.10	40.00	—	—	※ ⁶
あばしり健康マイレージ ポイント達成者数	人/年	165	250	518	207.2%	A
休日救急体制の対応日数	日	73	73	72	100.0%	A
新規開業医療機関数	施設	0	2	4	200.0%	A
介護支援ボランティアポイン ト事業活動登録者数	人	0	600	529	88.2%	B
介護予防等事業参加率	%/年	26	35	20	57.1%	C

※6 結果判明時期：R7.11 参考値：(R5)27.50%…C

【２－１ コンパクトシティの推進】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
高齢者向け優良賃貸住宅 建設数	戸	20	30	20	66.7%	C

【２－２ 小さな拠点の強化】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
単位町内会の地区連合町内会加入数	町内会	140	148	125	84.5%	C

【３－１ 公共施設などのマネジメント】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
公共施設等の総面積の縮小	千㎡	319	※ ⁷	299	67.1%	C

※⁷ 公共施設等総合管理計画に基づき、30年間で112千㎡削減目標

令和6年度目安値は289.2千㎡、達成率67.1%（評価C）

【３－２ 住環境の提供】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
空き家バンク新規登録数	件/年	5	6	3	50.0%	C
特定空き家解体費補助件数	件/年	0	2	1	50.0%	C
空き家補助件数	件/年	12	15	24	160.0%	A
省エネ住宅補助件数	件/年	45	55	162	294.5%	A
子育て世帯補助件数	件/年	24	30	51	170.0%	A

【４－１ 定住自立圏等の地域間連携の推進】

K P I	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成率	評価
公共施設相互利用者数	人/年	1,834	2,200	1,239	56.3%	C
救急医療体制の対応日数	日	365	365	365	100.0%	A
救急搬送疾病程度軽傷割合	%	36.2	35.0	35.1	91.7%	B

3. 第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証

基本目標と各施策のK P I の客観的な評価をもとに第2期戦略の効果を検証します。

基本目標の数値目標と各施策のK P I の達成状況

- ◆基本目標1 地域づくりを担う組織との協働による、誰もが安心して働くための
産業振興と雇用の場の創出

【数値目標】市内事業所の従業員数 16,000 人

【達成状況】 -人 【達成率】 -%



評価
✕

- ◆基本目標2 観光や健康・スポーツなど、網走の地域特性を生かした
交流・関係人口の拡大

【数値目標】観光入込客数 199 万人

【達成状況】 157 万人 【達成率】 78.9%



評価
C

- ◆基本目標3 若い世代が健康で、希望に応じて結婚・出産・子育てができる環境づくり

【数値目標】合計特殊出生率 1.65

【達成状況】 1.19 【達成率】 72.1%



評価
C

- ◆基本目標4 東京農業大学、日本体育大学などと連携し、地域を支える人材の育成・確保

【数値目標】全国学力（体力）調査の全国平均

【達成状況】学力-3.7

体力+0.2

【達成率】 98.9%



評価
B

- ◆基本目標5 誰もが活躍し、安心して暮らすことができる時代に合った
共生型地域社会づくり

【数値目標】健康寿命（男性） 79.50 歳

健康寿命（女性） 84.39 歳

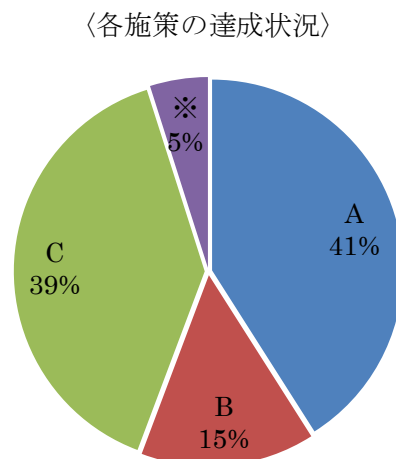
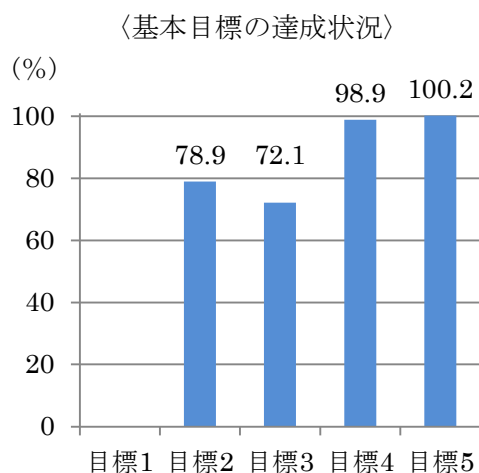
【達成状況】健康寿命（男性） 79.28 歳

健康寿命（女性） 84.87 歳

【達成率】 100.2%



評価
A



	基本目標の数値目標		各施策のK P I	
A（目標達成）	2	33%	25 件	41%
B（対目標率 80%以上）	1	17%	9 件	15%
C（対目標率 80%未満）	2	33%	24 件	39%
※（調査時期未到来）	1	17%	3 件	5%
合計	6	100%	61 件	100%

基本目標 2、3 が評価 C となりましたが、評価指標の観光入込客数及び合計特殊出生率は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を強く受けたものと見られます。

一方、基本目標 4 は一部の項目で目標値を達成、全体でも達成率 98.9%であったほか、基本目標 5 は、評価指標の健康寿命が、男性は対目標率 99.7%、女性は 100.6%、平均すると達成率 100.2%となり、取り組みの効果が見られます。

K P I は、全 61 件のうち、評価 A が 25 件、評価 B が 9 件となっており、半数以上 (56%) の施策で効果が表れています。

また、評価 C (24 件) は、基準値から減少した施策及び十分ではないものの、少なからず効果があった施策となっています。

産業振興の分野では、中心市街地歩行者数や定住する地域おこし協力隊員数などの項目で目標を大きく下回っています。特に中心市街地歩行者数は減少傾向が続いておりませんが、2025（令和 7）年 2 月の新庁舎開庁の効果が期待されます。

また、オホーツク産機能性もち麦の国内消費拡大及び産地化では、令和 4 年から栽培停止となっていますが、現在、栽培再開に向け協議が重ねられています。

再生可能エネルギー・新エネルギーの利用促進では、令和 4 年度に風力発電施設 1 基が新たに稼働を開始したほか、市と日本ガイシ株式会社の共同出資により自治体新電力会社

「あばしり電力」を設立し、太陽光発電による再生可能エネルギーの活用に取り組んでいます。

観光分野では、2019（令和元）年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入込客数、宿泊客数及び外国人宿泊者数が大きく減少し、目標達成には至りませんでした。近年は新型コロナウイルス感染症の収束や円安の影響によるインバウンドの増加もあり、入込客数等は回復傾向にあります。

また、同様に合宿参加人数も大きく減少しましたが、新たに女子プロサッカーチームを誘致したほか、令和8年度には J リーグ「柏レイソル」の夏季トレーニングキャンプが予定されており、合宿参加人数の増加が期待されます。

合計特殊出生率は目標値（1.65）を下回りましたが、全国平均³（1.15）は上回りました。出会いの場創出支援や産科・小児科医療機関の維持、18 歳までの医療費無料や給食費の無償化など、結婚から子育てまで切れ目のない支援に取り組んでいますが、少子高齢化に歯止めがかからない状況です。引き続き安心して出産・子育てができる環境づくりに取り組む必要があります。

地域を支える人材の育成・確保では一定の成果が見られましたが、市の特徴的な取り組みである東京農業大学生物産業学部、日本体育大学附属高等支援学校と連携した人材育成・確保では、卒業生の市内就職者数が目標に至りませんでした。引き続き、人材育成、地域定着の取り組みが求められます。

橋梁、水道管等のライフラインの整備などは概ね目標を達成し、空き家対策に係る各種補助件数及び救急医療体制の対応日数、新規開業医療機関数では目標を達成しています。

また、路線バスの利用者数が目標を下回った一方、令和5年度から本格運行を開始した「どこバス」の利用者数は目標値を大きく上回っています。

第2期戦略は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、特に観光や人の流れにおいて目標達成が困難となりました。

分野ごとでは、防災対策、インフラ整備、医療・子育て環境の整備など「まち」分野での達成率が高く、産業振興や新たな人の流れの創出など、「ひと」「しごと」分野では効果が低いという結果になりました。

コロナ禍を経て社会経済情勢は大きく変わり、デジタル化の加速やリモートワーク、ワーケーションといった働き方の普及、地方移住への関心増加などの変化が表れました。

³ 北海道平均 1.01 人口動態保健所・市区町村別合計特殊出生率

国が 2014（平成 26）年に取り組みを開始した地方創生は 10 年目を迎え、2025（令和 7）年にはこれまでの「地方創生 1.0」を発展させた「地方創生 2.0」を開始したところであり、本市においてもこれまでの戦略で進めてきた取り組みを継続するとともに、新たな社会課題に対応していくことが重要です。

2025（令和 7）年から始まった第 3 期総合戦略は、同年 2 月に改訂した「網走市人口ビジョン」の内容を踏まえ、今後予想される人口減少や地域経済の縮小を前提としつつ、市民が住みよい環境を持続的に確保するまちづくりに取り組むものとしています。

今後、さらなる人口減少、少子高齢化が進む中、持続可能で活力あるまちを創るためには、本市の強みや特徴を活かした産業の創出・振興や人材の確保、移住・定住の推進により人口減少をゆるやかにする施策に加え、人口・経済規模が縮小しても社会機能を維持できるよう、交流人口や関係人口の創出・拡大、医療体制・地域公共交通の確保など、人口減少社会に適応した地域づくりに取り組む必要があります。

第2期網走市まち・ひと・しごと

創生総合戦略の効果検証

令和7年（2025）年8月

網走市 企画総務部 企画調整課

〒093-8555

北海道網走市南5条東1丁目10番地

TEL：0152-67-5380

FAX：0152-43-5404

基本方針	基本的な方向	具体的な施策	KPI								基準日 （調査日）	結果公表日 （確認時期）	確認方法	KPI設定根拠	目標達成・未達成の要因／増減要因／取組内容／備考	KPI担当課	
			項目	基準値 (H30)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R6)							
基本目標 1 地域づくりを担う組織との協働による、誰もが安心して働くための産業振興と雇用の場の創出			市内事業所の従業員数	15,757人	未実施	14,426人	未実施	未実施	未実施	16,000人	6月1日 (5年毎)	翌年12月 (5年毎)	経済センサスによる	第1期の目標値を継続	参考：製造業においては経済構造実態調査で毎年市町村別従業員数を公表。 R3年（センサスうち製造業）：1,635人、R4年（実態調査）：1,480人、R5年（実態調査）：1,579人	商工労働課	
【1】産業振興策の構築																	
【1-1】地域産業の更なる競争力強化の取り組み	【1-1】地域産業の更なる競争力強化の取り組み	○ブランド化と高付加価値化の推進	オホーツク産機能性もち麦の国内消費拡大	0t/年	102t/年	1,706t/年	—	—	—	1,000t/年	3月	3月	J Aオホーツク網走に確認	① J A第4次農業振興計画 ②第12期網走市農業振興計画（もち麦H30 0ha 0t→R5 440ha 1,980t）	R4産以降については、もち麦の栽培再開に向けて、JAと実需者として栽培数量や取引条件などについて協議が重ねられている状況。 ※栽培条件などの試験栽培は、寒冷地農場などで継続して実施している。 ※産地化は、作付面積440ha（農業振興計画目標値）を基準に達成とする。	農林課	
			新規作物（もち麦）の産地化	0ha	24.66ha	400.24ha	—	—	—	産地化	3月	3月	J Aオホーツク網走に確認	① J A第4次農業振興計画 ②第12期網走市農業振興計画（もち麦H30 0ha 0t→R5 440ha 1,980t） （豆類H30 485ha→R5 607ha）		作付転換による作付面積拡大 ※ 連作障害への対応など畑作3品（馬鈴薯、ビート、麦類）に豆類（主に大豆、小豆）を加えた畑作4品とするため作付け面積を拡大。	農林課
		豆類の作物の作付面積	485ha	562ha	655ha	709ha	905ha	1030ha	607ha	10月					12月		交通量調査による
		中心市街地歩行者数（平日）	1,006人	965人	1,117人	891人	765人	612人	3,000人		3月	3月	企画調整課調べ	ユーラスエナジー建設予定分を見込む		【風力発電】 (R4年度)ユーラスエナジー（R5.3.11運転開始 27.35M） 【バイオマス発電】 (R4年度)WINDSMILE 2号機（R4.10.27運転開始 9.9M）、WINDSMILE 3号機（R5.3.8運転開始 9.9M） 【太陽光発電】 (R4年度)あばしり電力（R5.3完成、R5.3.26送電開始 0.4M→R5発電所増設 1.5M）	
		中心市街地歩行者数（休日）	905人	617人	394人	473人	347人	265人	2,000人	10月					11月		生活環境課調べ
		企業誘致件数	2件	0件	0件	2件	0件	0件	5年間で2件		3月	3月	商工労働課調べ	第1期の目標・実績に基づき、目標数値継続として設定		企業：基準値2件（ウインドスマイル・NGK）、雇用：基準値14人（ウインドスマイル分）H31_14名：NGK分。R4_18名：ウインドスマイル2,3号機分。累計は46名。 今後の見込み：R8上川大雪酒造完成予定。引き続き企業誘致に努める。	
	雇用数	14人	0人	0人	18人	0人	0人	5年間で6人									
	【1-2】国内外への販路拡大	【1-2】国内外への販路拡大	○地場産品の販路拡大に向けた支援	対EU輸出水産食品取扱認定施設保有企業数	4社	4社	5社	5社	5社	5社	5社 (5年間で1社増)	3月	3月	厚労省、水産庁公式サイトにて確認	適宜、市内水産加工事業者から聞き取りしてきた情報等をもとに推計し、目標値を設定。	令和3年度に目標値である5社を達成。 【取得済事業者】 ①マルキチ②カネコメ田中③同和食品④宮川漁業⑤北見食品工業	水産漁港課
			○網走港の活用	網走港からの移・輸出入貨物取扱量	39万t/年	44万t/年	44万t/年	44万t/年	37万t/年	40万t/年	43万t/年	12月	翌年1月	港湾統計	直近の取り扱い貨物量と今後の取り扱いの見込みによる	R6年取扱量404,816トン※近年は約40万トンで推移。 主要取扱品目：小麦、石炭（貨物の取扱増加に向け、継続したポートセールス実施）	港湾課
	【1-3】地域特性を活用した新エネルギーの利用や企業誘致の促進	【1-3】地域特性を活用した新エネルギーの利用や企業誘致の促進	○再生可能エネルギー・新エネルギーの利用促進	大規模発電施設数	4基	0基	0基	3基 (累計)	4基 (累計)	4基 (累計)	5年間で2基	3月	3月	企画調整課調べ	ユーラスエナジー建設予定分を見込む	【風力発電】 (R4年度)ユーラスエナジー（R5.3.11運転開始 27.35M） 【バイオマス発電】 (R4年度)WINDSMILE 2号機（R4.10.27運転開始 9.9M）、WINDSMILE 3号機（R5.3.8運転開始 9.9M） 【太陽光発電】 (R4年度)あばしり電力（R5.3完成、R5.3.26送電開始 0.4M→R5発電所増設 1.5M）	企画調整課
			○省エネルギーの普及	「COOL CHOICE」賛同者数	120人	92人 (累計212人)	0人 (累計212人)	137人 (累計349人)	136人 (累計485人)	143人 (累計628人)	5年間で480人 (累計600人)	10月	11月	生活環境課調べ	H30の賛同者数120人×5年間で算定	R6環境展・生活展にて環境対策係のブースを設けた。 COOL CHOICEと「網走市エコドライブ宣言」の理念を啓発した。 賛同者には署名を求め、粗品を贈呈した。 その集めた数をKPIとした。 ※R6よりCOOL CHOICEから「デコ活」へ名称変更	生活環境課
				「網走市エコドライブ宣言」賛同者数	120人	92人 (累計212人)	0人 (累計212人)	134人 (累計346人)	139人 (累計485人)	126人 (累計611人)	5年間で480人 (累計600人)						
			○企業誘致の促進	○企業誘致の促進	企業誘致件数	2件	0件	0件	2件	0件	0件	5年間で2件	3月	3月	商工労働課調べ	第1期の目標・実績に基づき、目標数値継続として設定	企業：基準値2件（ウインドスマイル・NGK）、雇用：基準値14人（ウインドスマイル分）H31_14名：NGK分。R4_18名：ウインドスマイル2,3号機分。累計は46名。 今後の見込み：R8上川大雪酒造完成予定。引き続き企業誘致に努める。
	雇用数	14人			0人	0人	18人	0人	0人	5年間で6人							

基本方針	基本的な方向	具体的な施策	KPI								基準日 （調査日）	結果公表日 （確認時期）	確認方法	KPI設定根拠	目標達成・未達成の要因／増減要因／取組内容／備考	KPI担当課
			項目	基準値 (H30)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R6)						
【2】多様な就労環境の創出																
【2-1】就労機会の拡充	○若者の就労促進	高校卒業就職者市内就職率														
				61.43%	50.00%	63.41%	61.53%	52.85%	55.56%	65.00%	4月	7月	網走市進路状況調査による	第1期の目標・実績に基づき、目標数値継続として設定	市内事業者の求人状況など経済情勢の影響あり R6卒業生272名（R7.4） 就職者63名（23.2%）（市内就職35名（55.56%）、林-ツカ20名、道内8名） R5卒業生287名（R6.4） 就職者70名（24.4%）（市内就職37名（52.85%）、林-ツカ15名、道内15名、道外2名） R4卒業生261名（R5.4） 就職者65名（24.90%）（市内就職40名（61.53%）、林-ツカ16名、道内9名） R3卒業生313名（R4.4） 就職者82名（26.2%）（市内就職52名（63.41%）、林-ツカ20名、道内10名） ※R2：50.0%	商工労働課
	○女性・高齢者の就労促進	女性が働きやすいと感じる割合		27.42% (H31)	未調査 (隔年)	40.33%	未調査 (隔年)	39.6%	R8.5	35.00%	10月 (隔年)	翌年5月	網走市女性労働実態調査による	就労を継続するにあたり、職場環境の向上・改善が求められることから、新たに設定	割合については、就労者の1/3以上を目標として設定。 R2、R4は隔年調査のため未実施。 職場環境の改善のため、企業のトイレやシャワールームなどの改修をできる網走市建設業者職場環境改善事業補助金などを交付し、誰もが働きやすい職場の環境づくりを促進している。	商工労働課
	○障がい者の就労促進	障害者手帳所有者中の就労者数の割合		52%	60%	未調査 (3年毎)	未調査 (3年毎)	55%	R8.9	57%	令和5年9月	令和5年9月	手帳所有者へのアンケート	障がい福祉係が実施する、手帳所有者へのアンケート	障がい者就業・生活支援センターあおぞらとの共催による「障がい者就労支援連絡会」や相談会・意見交換会等の取り組みにより、就労先の拡大が図られるよう努めている。	社会福祉課
			障がい者受入企業の割合	7%	7%	7%	9%	9%	11%	8%	令和6年10月	令和6年10月	網走市労働実態基礎調査	網走市労働実態基礎調査	「障がい者就労支援連絡会」や相談会・意見交換会等に取り組み、企業の理解が進むよう努めている。	社会福祉課
	○ものづくり・起業化の推進	市と会議所が支援した起業・創業数														
40社			47社 (累計)	53社 (累計)	59社 (累計)	65社 (累計)	80社 (累計)	50社 5年間で10社	3月	3月	創業者実績（累計）	第1期の目標・実績に基づき、目標数値継続として設定	R6 創業支援実績より 相談31 創業15（内訳：宿泊業3件、飲食業4件、小売業2件、サービス業4件、自動車整備業2件） R5 創業支援実績より 相談20 創業6（内訳：サービス業2件、飲食業4件） R4 創業支援実績より 相談21 創業6（内訳：サービス業3件、飲食業2件、教育・学習支援業1件） R3 創業支援実績より 相談21 創業6（内訳：飲食業4件、写真業1件、サービス業1件） R2 創業支援実績より 相談16 創業7（内訳：飲食業3件、小売業3件、サービス業1件） （参考）H31 創業支援実績より 相談29 創業11（内訳：飲食業6件、娯楽業1件、建設業1件、サービス業1件、医療業1件）	商工労働課		
○U・I・Jターンの推進	定住する地域おこし協力隊員数															
		0人	0人	0人	1人 (累計)	1人 (累計)	1人 (累計)	5年間で5人	3月	3月	企画調整課調べ	1人/年×5年間で算定	協力隊を活用する事業が少なく、また任期満了後の隊員の職探しが困難であったことから、任用数（4名）、定住数（1名）ともに目標に満たなかった。 ・R4 コネクトトリップ1名（8月末退任）→定住、まち会社1名（2年目） ・R5 まち会社2名（3年目+1年目）→1名任期満了 ・R6 まち会社2名（2年目+1名新規採用）	企画調整課		

基本方針	基本的な方向	具体的な施策	KPI								基準日 （調査日）	結果公表日 （確認時期）	確認方法	KPI設定根拠	目標達成・未達成の要因／増減要因／取組内容／備考	KPI担当課	
			項目	基準値 (H30)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R6)							
基本目標 2 観光や健康・スポーツなど、網走の地域特性を活かした交流・関係人口の拡大			観光入込客数	147万人/年	89万人/年	94万人/年	141万人/年	144万人/年	157万人/年	199万人/年	3月	5月	観光入込客数調査	網走市観光振興計画2019による	令和6年度の観光客入込数は、円安影響によるインバウンドの増加やイベント集客の増加等により、前年度及び基準年度の数値を上回っているものの、コロナ禍を経て、現状では宿泊施設数、客室数や航空機、鉄道路線網の縮小もあり、KPI達成は困難な状況にある。	観光課	
【1】 交流・関係人口の拡大																	
【1-1】「〴〴おいしいまち”網走”」の確立と進化	〇観光資源の磨き上げと開発による魅力向上	観光入込客数 （再掲）														観光課	
		観光宿泊客数	35万4千人/年	24万8千人/年	28万6千人/年	37万6千人/年	36万8千人/年	39万6千人/年	46万人/年	3月	5月	観光入込客数調査	網走市観光振興計画2019による	令和6年度の観光宿泊客数について、円安影響によるインバウンドの増加や下期の国内観光客利用が好調であったこと等から前年度及び基準年度の数値を上回っているものの、コロナ禍がもたらした観光業界の人手不足や施設稼働率の制約、航空、鉄道路路線網の縮小、インバウンド需要が大都市圏に偏在していることなどによる影響もあり、KPI達成は困難な状況にある。	観光課		
		観光入込客数 （再掲）														観光課	
		観光入込客数 （再掲）															
		観光入込客数 （再掲）														観光課	
	〇「〴〴おいしいまち”網走”」のPR	観光入込客数 （再掲）															観光課
		合宿参加人数 スポーツ 芸術文化	1828人/年 100人/年	483人/年 7人/年	710人/年 5人/年	983人/年 241人/年	844人/年 109人/年	911人/年 304人/年	2000人/年 300人/年	3月	5月	スポーツ課で取りまとめ	過去5年間の伸び率を参考に目標を設定	R3年度までは、新型コロナウイルスの影響により、合宿数減。ラグビートップリーグ開幕日程の変更（9月→1月）により今後も合宿者の減少が見込まれる。 大学ラグビーチームは合宿継続（R1法政、東海、山梨学院） R4年度は女子プロサッカー2チーム（大宮アルディージャ・ジェフ）が新たに合宿。 R5年度はR4年度にあった全道高校駅伝の人数分が減少したため。 R6年度は陸上競技の数チームやラグビー1チーム分が増加したため。	スポーツ課		
		東京オリパラホストタウン合宿参加人数	5人	0人	0人	0人	0人	0人	10人 5年間で5人								
		交流事業開催回数	0回	0回	0回	0回	0回	0回	1回 ※R3まで								
	〇スポーツ・芸術文化を切り口とした交流・関係人口の拡大	合宿及びスポーツ・ツーリズムによる経済波及効果	7億858万円/年	1億8,954万円/年	2億5,095万円/年	3億1,850万円/年	3億3,646万円/年	3億7,681万円/年	8億円/年	3月	5月	スポーツ課で取りまとめ	過去5年間の伸び率を参考に目標を設定	R3年度までは、新型コロナウイルスの影響により、合宿やイベント等が中止。 R4年度は女子プロサッカー2チーム（大宮アルディージャ・ジェフ）が新たに合宿。 R5年度は女子プロサッカー3チーム、ラグビー2チームが合宿し宿泊数が増加。 R6年度は女子プロサッカー3チーム、ラグビー3チーム、新規陸上チームが合宿し宿泊数が増加。	スポーツ課		
		〇スポーツツーリズム・アドベンチャーツーリズムの推進															
	【1-3】多様な機関との連携による関係人口の拡大	〇関係機関との連携による関係人口の創出・拡大	網走応援人登録者数	179人/年	206人/年	171人/年	226人/年	95人/年	160人/年	300人/年	3月	3月	企画調整課調べ	（登録人数実績） R1：206人 H30：179人 H29：245人、3ヵ年平均210人 ⇒1年ごとに10%（約20人）程度の伸びを見込み、5年後に210+100=310⇒300とした	R2年度からオンライン申請対応 R2：206人中83人（40.3%）がオンライン申請 R3：171人中79人（46.2%）がオンライン申請 R4：226人中121人（53.5%）がオンライン申請 R5：95人中64人（67.4%）がオンライン申請 R6：160人中110人（68.8%）がオンライン申請 R5に、ふるさと寄附者へ行っていた応援人登録案内が不可能となった影響で登録者数が減少し、R6は増加したものの目標未達成となった。	企画調整課	
			外国人宿泊客数	4万2千人/年	577人/年	385人/年	1万2千人/年	3万9千人/年	5万2千人/年	10万人/年	3月	5月	観光入込客数調査	網走市観光振興計画2019による	12月に中国人観光客を対象に渡航条件が緩和されたことや円安も追い風となり、春節の大型連休等を利用して冬の網走に訪れるインバウンドがコロナ禍前以上に増えるなど、令和6年度のインバウンド宿泊数は過去最高となったものの、コロナ禍がもたらした観光業界の人手不足や施設稼働率の制約、航空、鉄道路路線網の縮小、インバウンド需要が大都市圏に偏在していることなどによる影響もあり、KPI達成は困難な状況にある。	観光課	
	【1-4】マーケット視点に立った観光客の誘致拡大	〇観光客受入基盤強化	観光入込客数 （再掲）														観光課

基本方針	基本的な方向	具体的な施策	KPI								基準日 （調査日）	結果公表日 （確認時期）	確認方法	KPI設定根拠	目標達成・未達成の要因／増減要因／取組内容／備考	KPI担当課	
			項目	基準値 (H30)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R6)							
基本目標3 若い世代が健康で、希望に応じて結婚・出産・子育てができる環境づくり			合計特殊出生率	1.51	1.26	1.23	1.30	1.14	1.19	1.65	12月 (5年毎)	翌々年2月	人口動態保健所・市区町村別統計	網走市の人口ビジョン2025年の合計特殊出生率推計値	妊婦健康診査への助成や相談事業の実施及び不妊治療の助成等を行ったが、出産適齢期女性人口の減少などにより、前年度より減少した。 ※全国合計特殊出生率 1.15 (R6)	健康推進課	
【1】結婚・妊娠・出産・子育てについての切れ目ない支援																	
	【1-1】結婚・出産の意識改革	○出会いの場の創出	街コンなどのイベントにおけるカップル成立数	0組	0組	0組	2組 (累計)	8組 (累計)	13組 (累計)	5年間で20組	3月	3月	網走市出合いの場創出事業開催補助金交付等実績による	近年の状況から年間4組×5年＝20組と算出	（実績） R6:1回 5組 R5:1回 6組 R4:1回 2組 R2～3はコロナの影響により補助実績0 R2～R3にかけてコロナの影響によりイベント未開催だったこともあり、目標値には届かなかった。R4からはイベントが再開され、カップル成立数も増加傾向にあるため、引き続き補助に努める。	企画調整課	
	【1-2】周産期・小児医療の確保	○地域と連携した周産期・小児医療提供体制の充実	産科医療機関数 小児科医療機関数	2施設 3施設	2施設 4施設	2施設 4施設	2施設 3施設	2施設 3施設	2施設 3施設	5年後も 2施設 3施設 を堅持	3月	3月	健康推進課調べによる	現在の医療機関数	開業医誘致助成制度により、地域医療体制の確保に努める。 ◇土地、建物、医療機器等の取得に対する助成 ◇土地、建物、医療機器等の賃貸に対する助成 限度額：5,000万円 ・取得額の50／100に相当する額 ・年額賃貸料の50／100に相当する額 ※R3.2こまばクリニック（小児科医療機関）が新規開業。 ※R4.6角谷こどもクリニック閉院	健康推進課	
			○感染症予防対策への取り組み	子どもインフルエンザ予防接種率	68.9%	73.8%	56.7%	58.4%	60.9%	70.5%	75.0% (幼児～中学生を対象とする)	3月	3月	予防接種者数の集計	幼児の接種率を全体の目標値とする。	引き続き子どもインフルエンザの接種費用の無料化に取り組んだ。 無償化対象者：生後6ヶ月以上の幼児～18歳 無償化対象期間：10月～12月 KPI目標値は幼児から中学生までの75%（R5は未達成）	健康推進課
	【1-3】出産・子育ての負担の軽減	○妊娠期から子育て期の切れ目のない支援	子育てがしやすいと感じる割合	63.3%	未実施 (5年毎のため)	未実施 (5年毎のため)	未実施 (5年毎のため)	55.8%	59.6%	65.0%	12月 (5年毎)	翌年3月	子ども子育て支援事業計画策定にあたっての市民アンケート調査（R6.2月実施）	網走が子育てしやすいまちかとの市民アンケートの結果のうち「そう思う」、「どちらかというと思う」の割合の合計をKPIとした。 H26年度：56.4%からR6年度までの10年間で約10%の上昇を見込む ⇒1%/年の上昇を見込んだ	全体的な傾向としては、子育てしやすい環境にあるという肯定的な意見が多くなっている。一方で経済的な状況別に分析をすると、経済的に苦しい世帯ほど、子育て環境に否定的な意見となっており、引き続き、子育て世帯への経済的支援が求められている。 ※実績値 R5は速報値であるため、その後の詳細分析によりR6の実績値にて確定となっている。	子育て支援課	
			○不妊症・不育症に対する支援	合計特殊出生率 (再掲)													健康推進課
【2】ワーク・ライフバランスの実現																	
	【2-1】学習機会の提供と実践	○子育て世代への学習機会の提供	子育てがしやすいと感じる割合 (再掲)													子育て支援課	
		○子どもと子育てについての意識改革の推進	子育てがしやすいと感じる割合 (再掲)													子育て支援課	
【3】若い世代が安心して働ける場の確保																	
	【3-1】雇用の場の創出と就労支援	○ブランド化と高付加価値化の推進（再掲）															
		○若者の就労促進（再掲）															
		○ものづくり・起業化の推進（再掲）															

○第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI一覧表

回答可能時期

資料 2

基本方針	基本的な方向	具体的な施策	KPI								結果公表日 （確認時期）	確認方法	KPI設定根拠	目標達成・未達成の要因／増減要因/取組内容/備考	KPI担当課
			項目	基準値 (H30)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R6)					
基本目標 4 東京農業大学、日本体育大学などと連携し、地域を支える人材の育成・確保			全国学力調査の全国平均正答率との差 ①小学生 ②中学生 全国体力調査の全国平均点との差 ③小5男子 ④小5女子 ⑤中2男子 ⑥中2女子	①△2.7 ②△0.9 ③+0.2 ④+1.3 ⑤△0.8 ⑥△3.0	未実施	①△1.5 ②△3.2 ③+0.1 ④△0.4 ⑤+0.2 ⑥△0.1	①△4.1 ②△3.7 ③+0.3 ④△0.3 ⑤+1.5 ⑥△3.1	①△1.2 ②△2.3 ③+1.8 ④+2.5 ⑤+0.6 ⑥+0.7	①△3.2 ②△4.2 ③△0.4 ④△0.2 ⑤+1.6 ⑥△0.1	全国平均以上	9月 1月	文部科学省の公表 文部科学省（スポーツ庁）の公表	調査開始以来、北海道全体として学力・体力調査の全国水準を下回る状況が続いており、道教委では「全国平均以上」を目標としている。網走市においても、同様の状況が見られることから同様に「全国平均以上」を目標とすることとした。	【学力向上】調査開始後、網走市内校が「オール網走」として取り組んできているが、平均正答率において実施年度により増減があるものの、全国平均を上回る成果には到達できていない。今後は、「網走市学校教育推進プラン」で示された児童生徒に求められる資質・能力育成のため、網走市総合学校力向上実践事業として行う授業力向上研修会や「学びEXP0in網走」の内容の工夫充実を図り、優れた実践や取組の市内校への還元並びに教員の指導力向上を一層推進する。	学校教育課
														【体力向上】R5年度は小5男女、中2男女ともに全国平均点を上回り、R6年度も全国平均とほぼ同等だった。引き続き、児童生徒の体力向上や運動に親しむ態度の育成のため、日体大から講師を招いた指導力改善のための研修会を開催するなど、教員の指導力向上に取り組む。	
【1】東京農業大学や日本体育大学との連携															
	【1-1】東京農業大学との連携	○地元に着定する人材の確保	農大卒業生の市内就職者数	9人	6人	10人 (累計)	13人 (累計)	15人 (累計)	18人 (累計)	5年間で30人	3月	網走市進路状況調査による	直近3か年平均 6人×5年＝30人を見込む	卒業生数の減少（H30：401人→R6：312人）、就職率の低下（H30：90.0％（361人/401人）→R6：80.1％（250人/312人））により市内就職者数も減少。 (実績) H29：3人 H30：9人 H31：7人 R2：6人 R3：4人 R4：3人 R5：2人 R6：3人 ※卒業生312人 就職者数250人（80.1％） （市内3人、管内16人、道内47人、道外184人）※道外就職率 73.6％	商工労働課
		○多様な組織との連携による地域課題への取り組み	未来を考える戦略センター取扱い事業件数	0件	1件	2件 (累計3件)	6件 (累計9件)	6件 (累計15件)	3件 (累計18件)	5年間で5件	3月	企画調整課調べ	戦略センターでの地域課題取り扱い件数1件/年を想定	東京農業大学の学びの魅力を活かした首都圏での関係人口の創出・拡大事業 【相談件数】18件 ①水産加工会社補助申請②酒蔵木桶プロジェクト③第2中学校出張講義④製麺会社種類改良⑤循環型農業の可能性⑥ビーツ研究⑦カルシウムの解析研究及び人材の確保⑧カルシウム補助食品の研究⑨サーモンの養殖⑩ミスカンサスの有効活用⑪団体観光客の農大受入⑫アロニアジャムの製造及びサブリの研究⑬新製品の開発⑭コーヒー豆のカスの利用⑮産業用大麻の研究⑯網走信金本、各支店内にある農大紹介コーナーの活用充実⑰網走漁組よりピノス員の有効活用についての研究依頼⑱知床ウトロ学校教員より農大生派遣依頼	企画調整課
	【1-2】日本体育大学との連携	○日本体育大学附属高等支援学校が行う特別支援教育への支援	日本体育大学附属高等支援学校卒業生の網走市内就職者数	0人	1人	3人 (累計)	5人 (累計)	7人 (累計)	8人 (累計)	5年間で15人 (累計)	3月	日本体育大学附属高等支援学校に聞き取り	3人×5年を想定 R01年度が初の卒業生	R01：卒業生17名（うち市内1名） R02：卒業生20名（進学7名、就職8名（市内1名）、その他（福祉的就労5名）） ※北見高等技術専門学校1名 R03：卒業生31名（進学5名、就職14名（市内2名）、その他（福祉的就労12名）） R04：卒業生28名（進学5名、就職15名（市内2名）、その他（福祉的就労7名、未定1名）） R05：卒業生26名（進学2名、就職15名（市内2名）、その他（福祉的就労5名、未定3名、定時制高校1名）） R06：卒業生24名（進学5名、就職12名（市内1名）、その他（福祉的就労6名、未定1名））	企画調整課
		○日本体育大学附属高等支援学校との連携による市民スポーツ活動の充実	日体大連携スポーツ教室の参加者数	0人	未実施	未実施	未実施	79人/年	58人/年	50人/年	5月	スポーツ課調べによる	他スポーツ教室の人数を参考に目標を設定	H29：陸上教室の開催、日体大本校から講師を招いて市内陸上関係者30人程度で開催 R2～R4：新型コロナウイルスの影響により未実施 R5：H29と同様に陸上教室の開催 参加者79人 R6：陸上教室の開催 参加者58人	スポーツ課
	【2】多様な人材の育成・確保														
		【2-1】大都市圏などからの人材確保	○多様な知識・経験を有する人材の還流	定住する地域おこし協力隊員数（再掲）											
【2-2】人材の育成・確保		○多様な組織との連携による地域課題への取り組み（再掲）													

基本方針	基本的な方向	具体的な施策	KPI								結果公表日 (確認時期)	確認方法	KPI設定根拠	目標達成・未達成の要因／増減要因/取組内容/備考	KPI担当課
			項目	基準値 (H30)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R6)					
【3】子どもの学力・体力向上の推進															
	【3-1】子どもの 学習環境の充実	○子どもの学力の向上や体力などの増進	全国学力調査の全国平均正答率との差 ・小学生 ・中学生 全国体力調査の全国平均点との差 ・小5男子 ・小5女子 ・中2男子 ・中2女子 (再掲)												学校教育課
		○ICTを活用した授業の推進	知識の定着や技能の習熟をねらいとして、学習用ソフトウェアなどを活用して、繰り返し学習する課題や児童生徒1人1人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませることが「できる」教職員の比率 ・小学校 ・中学校	小80.7% 中90.6%	小61.3% 中62.4%	小81.0% 中83.5%	小90.7% 中70.4%	小94.7% 中76.8%	小93.1% 中87.5%	前年度比3%増	12月	国の調査の集計後	毎年文科省で実施する「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の項目 3ヶ年平均は、 小84.7%+3%×5か年→99.7% 中81.9%+3%×5か年→96.9% 100%近似達成を目標とする。	小学校教職員では若干前年度比率が下がったものの、GIGAスクール構想が加速し、市内校でICTを活用した授業実践や校内研修が行われるなど、授業において端末を活用した「個別最適な学び」を意識した授業を実践する教員は増えている。 引き続き、総合学校力向上推進委員会を中心として、全ての教員に効果的な端末活用の研修を実施していく。	学校教育課
		○学びの環境作りと機会の創出	子供の学習の場の参加者数	603人/年	764人/年	821人/年	997人/年	1,055人/年	1,019人/年	900人/年	5月	社会教育課が部取りまとめ確認	社会教育、社会体育事業の継続した学習の場と新規学習機会の創出による参加延人数増	地域の社会教育団体や大学・企業など多様な団体と連携し、学びの場の提供を行うことを通じて、子どもたちの新たな学習機会の創出につながっている。 【対象事業】放課後子供教室、ロセトクラブ、あばしり学（ロセトコース、学生ヒーローズ含む）、スポーツ教室、子どもスポーツチャレンジ、科学フェスティバル	社会教育課
【4】社会教育の推進															
	【4-1】市民の学 びの場の充実	○網走の地域資源や歴史・文化を学ぶ機会の充実	市民対象講座の参加者数	2,628人/年	1,670人/年	1,724人/年	2,333人/年	2,835人/年	3,714人/年	2,800人/年	5月	社会教育課が部取りまとめ確認	社会教育課、博物館、美術館、図書館での講座開設による参加者延人数の増	市民の学習意欲の創出につながるよう、参加者アンケートをもとに、講座テーマや講師の選定を行い、さらに、新たな事業創出も行い、参加者の増加につなげている。 【対象事業】市民大学、あばしり学（成人コース）、科学大学連携講座、観察会等各種講座、教育普及活動、多文化共生推進事業	社会教育課
		○生涯スポーツの推進	いきいき健康体力づくり教室・子どもスポーツチャレンジ・各種スポーツ教室の開催（テニス・バドミントン・スケート・スキー・スノーボード）参加者数	160人/年	84人/年	36人/年	104人/年	218人/年	237人/年	250人/年	5月	スポーツ課調べによる	講座指導者の確保に取り組みながら現行講座の定員数確保を目標とする。	新型コロナウイルス感染症の五類移行により事業が平常化したことから、実績値は上昇傾向にある。今後も生涯を通じて切れ目なく幅広い講座を実施することで、社会体育の更なる充実と発展を図る。	スポーツ課

○第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI一覧表

回答可能時期

資料 2

基本方針	基本的な方向	具体的な施策	KPI								基準日 （調査日）	結果公表日 （確認時期）	確認方法	KPI設定根拠	目標達成／未達成の要因／増減要因／取組内容／備考	KPI担当課
			項目	基準値 (H30)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R6)						
基本目標5 誰もが活躍し、安心して暮らすことができる時代に 合った共生型地域社会づくり			健康寿命 男性 女性	79.19歳 84.11歳	79.29歳 84.63歳	79.28歳 84.64歳	79.13歳 84.63歳	79.50歳 85.00歳	79.28歳 84.87歳	79.50歳 84.39歳	12月	12月	健康推進課調べによる		第3期網走市健康づくりプランにより、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を実現するため、生活習慣病の発症予防と重症化予防、高齢になっても社会生活を営むための機能を可能な限り維持することなどをめざすための取り組みを推進している。	健康推進課
【1】誰もが安心して暮らせる基盤整備																
【1-1】安全・安心なライフラインの構築	○インフラの戦略的な予防保全	橋梁補修 完了率		25%	30%	43%	55%	62%	65%	80%	3月	3月 (5年毎)	都市整備課発注調べによる	網走市橋梁長寿命化修繕計画による	（橋梁補修 完了率） 網走市橋梁長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用し、優先順位に従い計画的に橋梁補修工事を実施している。人件費及び物価の高騰により進捗が遅れ、目標未達成となった。今後も2～4橋程度／年について、計画的に補修工事を実施していく ・橋梁補修：1,418.9百万円/2,196.3百万円（全36橋のうち23橋完了および着手済み） ・導水管更新：47,030.96m/73,000m（全体73kmのうちS50年以前に付設された鋼管を対象に耐震化） ・圧送管渠の二条化：4.73km/23.46km（51kmの圧送管のうち特に重要とされる23.46kmを整備する） ※重要：新町中継ポンプ場系統、呼人ポンプ所系統など	都市整備課
			導水管更新（耐震化）完了率	49.40%	55.97%	56.41%	61.81%	64.65%	64.43%	60%	3月	3月		生活基盤施設耐震化等整備計画（導水管更新計画資料）より		下水道課
			下水道圧送管渠の二条化完了率	0%	8.8%	14.0%	17.0%	20.2%	22.57%	20%	3月	3月 (5年毎)		圧送管2条化年次計画による		下水道課
		○防災体制の強化	自主防災組織の組織率	70.50%	70.50%	71.56%	72.63%	72.36%	71.21%	80.0%	3月	3月	市民活動推進課調べによる	新たに20町内会（9.66%）に自主防災組織の結成を働きかける。	R7年3月末現在、町内会数198（自主防災141（71.21%））、地区連加盟町内会数125（自主防災109）。地区連合に加盟し、自主防災組織の結成を行っていない16町内会へ結成を呼び掛ける。	市民活動推進課
			緊急告知 防災ラジオ普及率	0%	59%	60%	60%	52.5%	62.2%	70%	3月	5月	総務防災課調べによる	「緊急告知防災ラジオ」総数7,000個のうち貸与率を高めるため、R6年度目標値として70%の貸与率とする。 （ラジオ総数7,000個のうちラジオ貸与数4,352個） （普及に向けた取り組み） 広報あばしり、ホームページ、転入者の方に対する周知を行い、電子申請のほか電話による申請も受け付けている。	総務防災課	
		○持続可能な公共交通ネットワークの形成	路線バスの利用者数	756,945人 (H31)	532,779人	594,614人	602,891人	554,474人	514,524人	756,945人 (R7)	-	-	網走市地域公共交通計画による	網走市地域公共交通計画による	路線バス：人口減少、ダイヤ見直しやどこバスへの移行を主な要因として利用者減となっている。 どこバス：R2.3.4はエリア、料金の見直し。R4～エリアの拡大・PR活動による認知度向上により実績値が大幅に増加。R5～本格運行開始、観光客認知度の高まりもあり、利用者が増えている。	商工労働課
	「どこバス」実証実験の利用者総数		959人 (R2)	959人	7,094人	40,234人	54,890人	63,606人	4,000人 (R4)							
	【1-2】健康寿命の延伸	○生活習慣病などの予防及びメンタルヘルス対策の推進	国保特定健診受診率	25.1%/年	24.40%/年	24.00%/年	26.60%/年	27.50%/年	R7.11	40.00%/年	11月1日	R7.12.31	①法定報告 ②申請による	第3期特定健康診査等実施計画書R5目標値より	・対象者（40歳～74歳）には、はがきにて受診を促進。 ・R3～医療機関受診者かつ特定健診未受診者に対し病院から特定健診受診勧奨 ・令和5年度からは、WEB予約とコールセンターでの受付を開始	戸籍保険課
			あばしり健康マイレージポイント達成者数	165人/年	219人/年	212人/年	248人/年	267人/年	518人/年	250人/年	3月31日	R7.3.31		H30当初予算達成見込み人数より	・健診等健康に関するイベントに参加でポイント獲得。ポイント達成でJA直売所で使用できる野菜クーポン券や総合体育館や市民プールの利用券と交換 ・市公式サイトや会場での積極的な声掛け。 ・R6年度は、これまでの20ポイントの他に、15・10ポイントを新設したため、達成者が増加。	戸籍保険課
		○休日・夜間の救急医療の確保	休日救急体制の対応日数	73日	72日	71日	72日	73日	72日	5年後も73日を堅持	12月	12月	医師会、関係医療機関に聞き取り	年間の日曜・祝日の数値	市内医療機関、北大、日医大関係の協力により体制が維持されている。 開設率100%	健康推進課
○開業医誘致に向けた取り組み		新規開業医療機関数	-	2施設	2施設 (累計)	4施設 (累計)	4施設 (累計)	4施設 (累計)	5年間で2施設	3月	3月	健康推進課調べによる	最低限必要と考える医療機関数	潮見地区に「なかむら内科ハートクリニック」（R2.5）。 駒場地区に「こまぼくクリニック」（R3.8）。 潮見地区に「さらしな内科」（R4.8） 駒場地区に「網走脳神経クリニック」（R5.4）	健康推進課	
		○高齢者や障がい者が暮らしやすいまちづくり	介護支援ボランティアポイント事業活動登録者数	0人	460人	470人 (累計)	488人 (累計)	515人 (累計)	529人 (累計)	5年間で600人	3月	5月	介護福祉課調べによる	R01登録者見込411人 各年約40人増として設定	○周知方法 ・市広報誌へ掲載 ・網走市社会福祉協議会を通じた広報活動（公式サイト掲載など） ○対象者 令和4年度より対象年齢拡充 40歳以上⇒18歳以上（高校生を除く） ○内容 市が指定した介護施設で介護ボランティアを行うとポイント獲得。ポイントに応じて対象施設等で利用可能なボランティア応援券を交付。	介護福祉課
○介護予防に向けた取り組み		介護予防等事業参加率	26%/年	20.5%/年	18.1%/年	18.4%/年	19.0%/年	20.0%/年	35%/年	3月	5月	介護福祉課調べによる	各年1.5%増として目標値設定	新型コロナウイルス感染症の影響により各種介護予防事業に参加する高齢者が減少した。 ・事業参加人数2,195人÷令和6年度末高齢者人口10,979人＝20.0%	介護福祉課	

基本方針	基本的な方向	具体的な施策	KPI								基準日 （調査日）	結果公表日 （確認時期）	確認方法	KPI設定根拠	目標達成・未達成の要因／増減要因／取組内容／備考	KPI担当課
			項目	基準値 (H30)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	目標値 (R6)						
【2】小さな拠点づくりを結ぶコンパクトシティの推進																
	【2-1】コンパクトシティの推進	○コンパクトシティの推進	高齢者向け優良賃貸住宅建設数	20戸	20戸	20戸	20戸	20戸	20戸	30戸	3月	3月	建築課調べによる	網走市住生活基本計画による	20戸→まちななか・あいむ10戸→国の「地域優良賃貸住宅制度」の活用をし、新たに10戸建設する予定であった。H30年9月に事業者を選定し建設に向け進めてきたが、新型コロナウイルスの影響を理由とし事業者側から中止の申し入れがあり、事業中止となった。	建築課
	【2-2】小さな拠点の強化	○地域コミュニティ活動の推進	単位町内会の地区連合町内会加入数	140	141	134	130	128	125	148	3月	3月	市民活動推進課調べによる	新たに8町内会に地区連合町内会への加入または地区連合町内会の結成を働きかける。	R7年3月末現在、地区連加入の町内会数は125町内会であるため、新たに34町内会に地区連への加入を呼び掛ける。また、未結成地域については、地区連の結成を呼び掛ける。	市民活動推進課
【3】公共施設などのマネジメント強化と住環境づくりの推進																
	【3-1】公共施設などのマネジメント強化	○公共施設などの計画的な管理	公共施設等の総面積の縮小	319千㎡ (H28) (公共施設等総合管理計画による)	311千㎡	299千㎡	296千㎡	293千㎡	299千㎡	(R6目安値) 289.2千㎡	10月	10月	公共施設等総合管理計画(R5.3策定)に基づき、固定資産台帳の年度更新時に確認	公共施設等総合管理計画による (30年間で112千㎡削減)	R5末時点：293千㎡ R6末：299千㎡ (主な異動内容) 【除却】旧庁舎 △126.96㎡ 市営住宅 △969.27㎡ 【新築・増築】 新庁舎 +6,444.81㎡ 市営住宅 +344.55㎡	財政課
	【3-2】住環境の提供	○空き家対策の推進	空き家バンクの新規登録数	5件	1件/年	2件/年	1件/年	1件/年	3件/年	6件/年	3月	3月	建築課調べによる	直近3年平均及び平成31年度件数による	ホームページ、広報での周知。 空き家所有者へリーフレット送付。 固定資産税納税通知書の封筒に広告を掲載。	建築課
			特定空き家解体費補助件数	0件	3件/年	0件/年	2件/年	1件/年	1件/年	2件/年						
			空き家補助件数 (リフォーム)	12件	17件/年	29件/年	23件/年	27件/年	24件/年	15件/年						3月
		○住環境の改善	省エネ住宅補助件数	45件	68件/年	75件/年	74件/年	101件/年	162件/年	55件/年						
			子育て世帯補助件数	24件	41件/年	36件/年	48件/年	43件/年	51件/年	30件/年						
【4】地域間連携施策の推進																
	【4-1】定住自立圏等の地域間連携の推進	○定住自立圏による地域間連携の推進	公共施設相互利用者数	1,834人/年 (延べ)	2,463人/年 (延べ)	1,704人/年 (延べ)	2,283人/年 (延べ)	1,135人/年 (延べ)	1,239人/年 (述べ)	2,200人/年 (延べ)	3月	6月	企画調整課調べによる	5年後に基準値の2割増を目標として設定 2,200/1,834≒1.2	網走市施設利用者＝427人（（R5）500）（大空町民） 福祉施設：9人 / 教育・文化施設：151人 / スポーツ施設：94人 / 観光施設：127人 / 八坂火葬場：46人 大空町施設利用者＝812人（（R5）635人）（網走市民） 教育・文化施設：647人/スポーツ施設：165人 ※R4に大空町のスポーツ施設を利用していた団体が、R5は利用しなかったため大幅減となった。	企画調整課
		○その他の広域連携の推進	救急医療体制の対応日数	365日	365日	365日	365日	366日	365日	5年後も365日を堅持	3月	3月	医師会、消防本部に聞き取り	365日・24時間救急対応できる体制	網走地区消防組合及び網走医師会の協力のもと、24時間365日救急搬送及び救急受入対応可能。軽症者の搬送割合が増加したため、引き続き必要時のみ救急車を利用するよう呼び掛ける。	健康推進課
			救急搬送疾病程度軽傷割合	36.20%	31.02%	34.92%	37.40%	40.6%	35.1%	35.00%						